

猪名川自然環境委員会の経緯等

<目次>

1. 猪名川自然環境委員会及び構造検討部会の経緯	1
2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷	2
3. 議事要旨集	6
(1) 第30回猪名川自然環境委員会(令和3年1月25日)	6
(2) 第24回猪名川自然環境委員会 構造検討部会(令和3年12月9日)	8

1. 猪名川自然環境委員会及び構造検討部会の経緯

「猪名川自然環境委員会」(H16.1～)

- 委員会は、猪名川流域における自然環境の整備と保全について、河川管理者に対して、必要な指導・助言を行うことを目的とする。(委員会規約第2条) (五十音順、敬称略)

猪名川自然環境委員会 委員(第31回)・構造検討部会 委員(第24回)

氏名	所属等	対象分野	委員会	部会
川崎 雅史	京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授	景観デザイン	○	
菅原 正孝	大阪産業大学 名誉教授	水環境工学	○	
竹門 康弘	京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 准教授	応用生態工学	○	○
田中 哲夫	元兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授	魚類生態学	○	○
服部 保	兵庫県立大学 名誉教授	植物生態学	○	○
松井 正文	京都大学 名誉教授	動物系統分類学	○	
村上 興正	元京都大学大学院 理学研究科 講師	動物生態学	○	○※部会長
森下 郁子	一般社団法人淡水生物研究所 所長	比較河川学	○※委員長	

構造検討部会

開催日	構造検討部会
H17. 5. 26	第1回部会
H17. 8. 10	第2回部会
H17. 12. 3	第3回部会
H18. 12. 5	第4回部会
H21. 3. 12	第5回部会
H21. 12. 4	第6回部会
H22. 3. 11	第7回部会
H22. 10. 22	第8回部会
H23. 2. 25	第9回部会
H23. 8. 11	第10回部会
H24. 2. 2	第11回部会
H24. 8. 14	第12回部会
H25. 1. 31	第13回部会
H25. 3. 9	第14回部会
H25. 8. 13	第15回部会
H27. 3. 11	第16回部会
H27. 10. 5	第17回部会
H28. 10. 26	第18回部会
H29. 9. 19	第19回部会
H30. 1. 18	第20回部会
H31. 10. 17	第21回部会
R 1. 10. 9	第22回部会
R 2. 12. 9	第23回部会
R 3. 12. 9	第24回部会

猪名川自然環境委員会

開催日	検討会
H16. 1. 15	第1回委員会
H16. 3. 9	第2回委員会
H16. 10. 19	第3回委員会
H17. 3. 22	第4回委員会
H17. 9. 7	第5回委員会
H17. 12. 14	第6回委員会
H18. 3. 29	第7回委員会
H18. 3. 8	第8回委員会
H19. 9. 12	第9回委員会
H19. 9. 12	第10回委員会
H20. 2. 26	第11回委員会
H20. 3. 28	第12回委員会
H20. 10. 16	第13回委員会
H21. 3. 22	第14回委員会
H21. 12. 11	第15回委員会
H22. 3. 18	第16回委員会
H22. 12. 8	第17回委員会
H23. 3. 11	第18回委員会
H23. 10. 21	第19回委員会
H24. 2. 23	第20回委員会
H24. 10. 31	第21回委員会
H25. 3. 26	第22回委員会
H25. 10. 9	第23回委員会
H26. 11. 6	第24回委員会
H28. 2. 8	第25回委員会
H29. 2. 10	第26回委員会
H30. 2. 9	第27回委員会
H31. 2. 13	第28回委員会
R 2. 2. 6	第29回委員会
R 3. 1. 25	第30回委員会
R4. 1. 7	第31回委員会

工事予定箇所の現地確認

開催日	現地確認
H22. 1. 26	平成21年度(1)
H22. 2. 8	平成21年度(2)
H22. 3. 4	平成21年度(3)
H24. 8. 14	平成24年度(1)
H25. 3. 9	平成24年度(2)
H25. 10. 8	平成25年度(1)
H25. 12. 18	平成25年度(2)
H27. 10. 21	平成27年度
H28. 9. 30	平成28年度
H29. 7. 3	平成29年度
H30. 8. 27	平成30年度
R 1. 7. 10	令和元年度
R 2. 12. 9	令和2年度
R 3. 12. 9	令和3年度

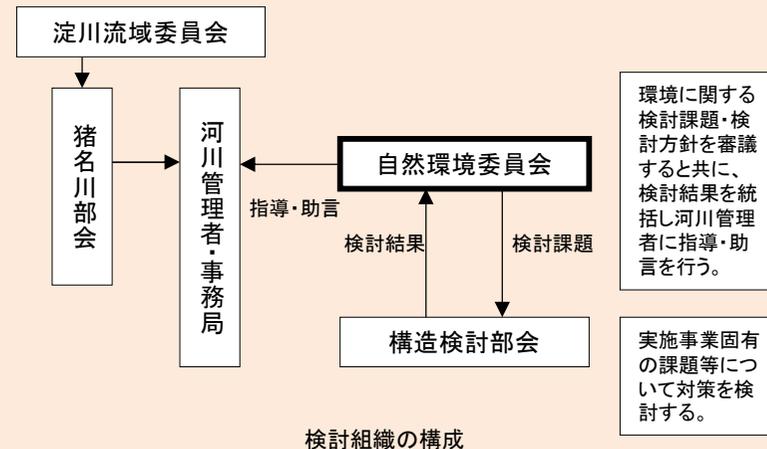
「猪名川自然環境委員会 構造検討部会」(H17.5～)

- 猪名川で実施される個別の事業において求められる環境面での配慮事項、河川環境に関わる縦断形や横断形等河川構造に関する事項、あるいは猪名川で自然再生を行うために実施すべき事業の内容等について審議するために、猪名川自然環境委員会の内部組織として構造検討部会を設置する。

【構造検討部会での検討項目】

構造検討部会では、猪名川自然環境委員会での審議内容を受け、次のような事項について検討する。

- ① 河川環境にかかわる縦断形や横断形等河川構造に関する事項
- ② 河道整備に関わる自然環境に関する事項
- ③ 工事実施に関わる自然環境に関する事項
- ④ 猪名川直轄区間占用申請物件の設置・改築等の自然環境に関する事項
- ⑤ その他猪名川自然環境委員会にて委員長が指定した事項



(出典:猪名川自然環境委員会 第1回構造検討部会 議事概要)

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(1/4)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H15	第1回 (H16.1.15)	・猪名川自然環境委員会の設立趣旨について ・猪名川自然環境委員会規約(案)について ・委員長選出	-	-	-	-
	第2回 (H16.3.9)	・最近の取り組みについて(外来種対策としてのアレチウリの刈り取りとその後の追跡調査状況、一庫ダム下流河川環境復元へ向けての対策、河道内樹木調査結果について(猪名川・藻川分派点付近の状況)) ・当面の調査検討について(調査検討のプライオリティについて、モニタリング調査計画について) ・現地視察に参加できなかった委員への猪名川の現状に関する説明について	-	-	-	-
H16	第3回 (H16.10.19)	・猪名川の河川環境に関する目標について ・治水防災に関する工事の実施について	-	-	-	-
	第4回 (H17.3.22)	・構造検討部会の設置について ・土砂動態検討会の開催報告	-	-	-	-
H17	第5回 (H17.9.7)	・第1回構造検討部会での審議について ・淀川水系流域委員会の報告(ダムの検討結果)について ・第2回構造検討部会での審議について ・今後のスケジュールについて ・河道掘削による河川環境への影響検討について ・試験土工について ・総合土砂管理委員会の設立について	第1回 (H17.5.26)	・構造検討部会の位置づけについて(報告) ・構造検討部会での検討項目について(報告) ・銀橋開削に伴う河床掘削の河川環境へ与える影響について(審議) ・検討会実施フローとスケジュール(案)について(審議) ・本年度実施工事に係る環境調査について(審議)	-	-
	第6回 (H17.12.14)	・自然再生事業試験施工について ・河川環境の現況把握に関する資料整理(中間とりまとめ) ・本年度実施事業に係る環境調査について ・猪名川外来種生育状況調査について	第2回 (H17.8.10)	・第1回構造部会での意見・課題整理について ・今後の検討スケジュールについて ・河道掘削の考え方について ・河道掘削による河川環境への影響について ●河川環境の現況把握について ●河道掘削による環境への影響について ●今後の調査、検討の進め方について	-	-
	第7回 (H18.3.29)	・環境目標設定について ・自然再生試験施工について ・土砂動態の検討状況について ・平成17年度工事実施箇所環境調査結果について ・善法寺地区におけるチガヤ移植の実施について ・出水後環境調査結果について	第3回 (H17.12.3)	・自然再生事業試験施工について	-	-
H18	第8回 (H18.12.17)	・河原再生試験施工について ・土砂動態の検討状況について ・平成18年度実施工事環境調査結果について ・善法寺地区におけるチガヤの移植試験について ・横断構造物の影響調査について	第4回 (H18.12.5)	・河原再生試験施工について ・土砂動態検討の状況報告	-	-
	第9回 (H19.3.8)	・自然再生試験施工モニタリング計画について ・猪名川の河川環境の現況について(報告) ・チガヤ移植試験結果について(報告)	-	-	-	-
H19	第10回 (H19.9.12)	・平成19年度委員会の検討方針および概要とスケジュールについて ・今年度の調査について(報告)	-	-	-	-
	第11回 (H20.2.26)	・環境目標の検討について【審議】 ・H19年度試験施工モニタリングについて【報告】 ・伐木計画について【報告】	-	-	-	-
	第12回 (H20.3.28)	・各種モニタリング調査等について	-	-	-	-

H15、H21、H22:
外来種対策(アレチウリ)

H16、H18、H19:
猪名川の河川環境
に関する目標

H17: 構造検討部会の設置、
総合土砂管理委員会の設置

H17~H24:
自然再生試験施工
の検討(河原環境再生)

H17、H18、H20、H23:
総合土砂管理委員会の報告

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(2/4)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H20	第13回 (H20.10.16)	・自然再生計画について ・工事施工箇所の環境調査について ・各種調査の中間報告	—	—	—	—
	第14回 (H21.3.22)	・前回委員会の議事概要とその後の対応について ・部会等報告 ①構造部会の報告(平成21年度工事予定箇所の環境調査について、河原再生試験施工について) ②土砂委員会の報告(平成21年度モニタリングについて)	第5回 (H21.3.12)	・猪名川のモニタリングについて(自然再生事業を例として) ・平成21年度工事(予定)に関する環境調査について ・試験施工モニタリングに関わる環境調査について ・大井井堰(藻川)魚道設置状況について	—	—
H21	第15回 (H21.12.11)	・平成21年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・河川縦断方向の連続性回復計画について ・外来種対策について ・河原再生試験施工モニタリング調査(中間報告)	第6回 (H21.12.4)	・平成21年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について(現時点での追加工事) ・平成21年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・河川縦断方向の連続性回復計画について	H21年度(1) (H22.1.26)	【川西・池田地区築堤・護岸他整備工事のうち、旧池田井堰工事(魚道の設置)】
	—	—	—	—	H21年度(2) (H22.2.8)	【北伊丹レキ河原再生工事】
	第16回 (H22.3.18)	・前回委員会議事概要について ・構造部会の報告 ①平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②猪名川魚がのぼりやすい川づくりマスタープラン(簡易魚道の検討) ・外来種対策について	第7回 (H22.3.11)	・平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・大井井堰簡易魚道のモニタリングについて ・猪名川魚がのぼりやすい川づくりマスタープラン(簡易魚道の検討) ・平成21年度工事箇所の現地視察報告(報告)	H21年度(3) (H22.3.4)	【川西・池田地区築堤・護岸他整備工事のうち、旧池田井堰工事(魚道の設置)】
H22	第17回 (H22.12.8)	・外来植物対策マニュアル案について ・構造部会の報告 ①平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②三ヶ井井堰簡易魚道の検討について ・モニタリング調査について(中間報告)	第8回 (H22.10.22)	・三ヶ井井堰簡易魚道の検討 ・平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ①第7回構造検討部会での指摘事項について ②新規報告工事 ・大井井堰簡易魚道のモニタリング結果(中間報告) (報告)平成21年度工事箇所の現地視察報告	—	—
	第18回 (H23.3.11)	・工事箇所モニタリング調査について ・河原再生試験施工地モニタリング調査について ・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・外来植物対策マニュアル案について	第9回 (H23.2.25)	・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・工事箇所モニタリング調査について	—	—
H23	第19回 (H23.10.21)	・構造検討部会の報告 ①平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②簡易魚道について ・河原再生試験施工地モニタリング調査について ・北伊丹レキ河原再生工事モニタリング調査について ・椎堂河道掘削工事調査結果について ・魚道の遡上について	第10回 (H23.8.11)	・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・簡易魚道の検討について	—	—
	第20回 (H24.2.23)	・平成24年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・平成24年度工事箇所モニタリング調査計画について ・平成23年度工事前調査結果報告について ・平成22年度工事後調査結果報告について ・第10回猪名川総合土砂管理委員会報告	第11回 (H24.2.2)	・平成24年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・平成24年度工事箇所モニタリング調査計画について 平成22年度工事後調査結果報告について	—	—

H21~H23:
工事予定箇所の環境への
配慮(現地確認等を実施)

H21、H22、H23、H26~:
簡易魚道に関する検討・調査

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(3/4)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H24	—	—	第12回 (H24.8.14)	・平成24年度工事予定箇所への影響と対策について ・平成24年度自然再生箇所等のモニタリング調査計画について	H24年度(1) (H24.8.14)	【第12回構造検討部会 現地視察】 ・戸ノ川橋(猪名川左岸0.8k付近)(戸ノ内地区河道浚渫工事) ・利倉橋(猪名川右岸2.8k付近)(利倉地区他河道掘削工事) ・猪名川・藻川分派点(藻川分派地区河道掘削工事・伐木(藻川3.8k~4.5k)) ・最明寺川合流点高水敷(猪名川右岸9.6k付近) (猪名川大橋地区礫河原再生工事・久代北台井堰簡易魚道設置工事) ・猪名川左岸10.4k付近堤防天端(池田床固簡易魚道設置工事)
	第21回 (H24.10.31)	・平成24年度工事予定箇所への影響と対策について ・平成24年度自然再生箇所等のモニタリング調査について	第13回 (H25.1.31)	・河原再生試験施工に関するとりまとめ ・平成25年度工事予定箇所への影響と対策	—	—
	第22回 (H25.3.26)	・第21回自然環境委員会・第11回総合土砂管理委員会での指摘とその対応 ・北河原地区河原再生試験施工に関するとりまとめ ・平成25年度工事予定箇所への影響と対策	第14回 (H25.3.9)	・平成25年度工事予定箇所の現地指導とりまとめ ・北河原地区河原再生試験施工に関するとりまとめ	H24年度(2) (H25.3.9)	【第14回構造検討部会 現地指導】 ・高木井堰周辺(東久代地区河道掘削他工事(低水路掘削部分)) ・箕面川合流点付近(北伊丹地区他河道掘削他工事) ・右岸6.6k付近堤防天端(北河原地区河道掘削工事) ・呉服橋周辺(川西・池田地区河道掘削工事(下流部)) ・加茂井堰周辺(川西・池田地区河道掘削工事(上流部))
H25	—	—	第15回 (H25.8.13)	・平成25年度工事予定箇所の自然環境への配慮事項	—	—
	第23回 (H25.10.9)	・第22回自然環境委員会および第15回構造検討部会の議事概要の確認 ・事業実施にあつての自然環境への配慮事項 ・台風18号出水について	—	—	H25年度(1) (H25.10.8)	【ヒメボタル調査に関する現地指導】 ・ヒメボタル幼虫調査の調査計画 ・チガヤ群落の調査内容 ・(場所)北伊丹地区河道掘削他工事現地(左岸7.3k付近)
	—	—	—	—	H25年度(2) (H25.12.18)	【簡易魚道等の構造・調査に関する現地指導】 ・池田床固の仮復旧および魚道計画 ・簡易魚道モニタリング調査結果 ・ヒメボタル調査結果(中間報告) ・(場所)池田床固、高木井堰、三ヶ井井堰、北伊丹地区河道掘削他工事現地
H26	第24回 (H26.11.6)	・平成24・25年度の工事実施状況および環境調査結果について ・魚道およびヒメボタルのモニタリング調査について ・水質の現況と改善の取り組みについて	第16回 (H27.3.11)	・河川整備計画の進捗状況について ・ヒメボタル幼虫等の調査結果について ・河道掘削モニタリング計画(案)について ・河道内樹木の伐採について	—	—
H27	第25回 (H28.2.8)	・河道掘削モニタリング計画(案) ・簡易魚道モニタリング計画(案) ・平成27年度工事箇所の環境面からの評価 ・平成28年度の工事予定	第17回 (H27.10.5)	・河道掘削工事に関する自然環境委員会の指摘と対応 ・河道掘削モニタリング計画(案) ・簡易魚道・ヒメボタル保全地のモニタリング調査 ・平成27年度工事予定箇所の環境配慮	H27年度 (H27.10.21)	【平成27年度工事予定箇所に関する現地確認】 ・猪名川右岸6.2k付近(藤ノ木地区低水護岸他補修工事) ・猪名川右岸7.4~7.8k付近(下河原地区他河道掘削他工事(猪名川7.4k付近)、下河原地区他河道掘削他工事(猪名川左岸7.6k付近)、池田地区河道掘削他工事(猪名川7.8k付近)) ・猪名川右岸8.2~8.4k付近(下河原地区他河道掘削他工事(猪名川8.2~8.3k付近)、池田地区河道掘削他工事(猪名川右岸8.4k付近)) ・猪名川右岸10.4~11.0k付近(池田地区河道掘削他工事)
H28	第26回 (H29.2.10)	・規約について ・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 ・河道掘削モニタリング調査結果 ・簡易魚道モニタリング調査結果 ・平成28年度工事箇所の環境面からの評価 ・平成29年度の工事予定	第18回 (H28.10.26)	・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理(構造検討部会に係る事項) ・平成28年度の工事予定箇所の工事概要 ・平成28年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) ・平成28年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告)	H28年度 (H28.9.30)	【平成28年度工事予定箇所に関する現地確認】 ・猪名川右岸0.8k~1.1k付近(戸ノ内地区掘削工事) ・藻川左岸3.2k~3.4k付近(田能地区災害復旧工事) ・猪名川左岸7.2k付近(中村地区堤防拡幅工事) ・猪名川右岸0.8k~1.2k付近(東園田地区堤防強化工事) ・猪名川左岸3.4k~3.6k付近(危機管理型ハード対策(堤防法尻補強)) ・猪名川右岸8.2k~8.4k付近(河道内樹木伐採) ・猪名川左岸8.4k~8.8k付近(河道内樹木伐採)

H24~:
工事予定箇所の現地確認・環境面からの評価・対応を継続的に実施

H27:河道掘削モニタリング計画、簡易魚道モニタリング計画を作成し、計画に基づき評価を実施

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(4/4)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H29			第19回 (H29.9.18)	・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 ・平成29年度の工事予定箇所から環境面からの評価(案) ・猪名川・藻川の河道及び河川環境の特性 ・平成29年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) ・平成29年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告)	H29年度 (H29.7.3)	【平成29年度工事予定箇所の工事概要及び環境調査結果】 ・小中島地区護岸補修工事 ・小中島地区護岸補修(その2)工事 ・(仮)東園田地区遮水矢板工事 ・(仮)今在家地区遮水矢板工事 ・(仮)利倉地区河道掘削工事・(仮)岩屋地区河道掘削工事 ・北伊丹地区礫河原再生工事 ・戸ノ内地区他堤防強化他工事 【平成30年度工事予定箇所の工事概要及び環境調査結果】 ・桑津橋地区礫河原再生工事 ・(仮)木部地区河道掘削工事・(仮)小戸地区河道掘削工事 ・(仮)利倉地区遮水矢板工事 ・(仮)額田地区法尻補強工事 ・(仮)東園田防災拠点整備工事 ・(仮)東園田橋梁取付工事 ・(仮)原田西地区カメラ設置工事・(仮)天津東ノ口地区カメラ設置工事 ・(仮)桑津地区カメラ設置工事
		H29: 猪名川・藻川の河道及び環境特性を整理				
	第27回 (H30.2.9)	・平成29年度 猪名川自然環境委員会構造検討部会の報告 ・平成29年度工事箇所から環境面からの配慮 ・河道掘削モニタリングのとりまとめと今後の方向性 ・簡易魚道モニタリングのとりまとめと今後の方向性 ・その他	第20回 (H30.1.18)	・第19回 猪名川自然環境委員会構造検討部会の指摘と対応 ・河道掘削モニタリングのとりまとめと今後の方向性 ・簡易魚道モニタリングのとりまとめと今後の方向性 ・平成29年度工事箇所から環境面からの評価		
		H29: 河川水辺の国勢調査を活用したモニタリングを進めていくことを報告				
H30	第28回 (H31.2.13)	・平成30年度 猪名川自然環境委員会 構想検討部会で得られた結果と課題 ・平成30年度工事箇所から環境面からの配慮 ・河川水辺の国勢調査の活用による環境影響モニタリング調査マニュアル(仮称)(案) ・平成30年度河道掘削モニタリング調査結果 ・平成30年度簡易魚道モニタリング調査結果	第21回 (H30.10.17)	・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 ・平成30年度工事予定箇所から環境面からの評価(案) ・河川水辺の国勢調査の活用による環境影響モニタリング調査マニュアル(仮称)(案) ・平成30年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) ・平成30年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告)	H30年度 (H30.8.27)	・猪名川左岸2.8k付近利倉橋下部工事 ・猪名川3.6k~4.2k付近、左岸6.0k~6.2k付近原田西地区他掘削他工事 ・猪名川右岸6.4k~6.6k付近北河原地区災害復旧工事 ・猪名川右岸2.8k付近(仮)利倉橋下部工事 ・猪名川左岸6.0k~6.4k付近(仮)桑津橋地区礫河原再生工事
		H30~: 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)の作成に着手				
			第22回 (R1.10.9)	・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 ・令和元年度工事予定箇所から環境面からの評価(案) ・河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) ・令和元年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) ・河川縦断連続性回復に関する総括と今後の方策(案)	R1年度 (R1.7.10)	・猪名川左岸2.6k~12.6k猪名川管内樹木伐採工事 ・猪名川左岸2.8k~3.2k付近利倉地区河道掘削工事 ・猪名川左岸5.4k~6.0k付近、藻川4.2k~森本地区他河道掘削他工事 ・猪名川右岸9.2k~9.4k付近(仮)猪名川大橋地区河原環境再生工事
		R2: 猪名川自然再生事業 河原環境の再生事業の完了に伴う総括(案)を報告				
					R1年度 (R1.9.20)	【ヒメボタルへ配慮した樹木伐採についての有識者・NPOとの現地確認】 ・3.4k右岸(猪名川公園前) ・6.8k~7.3k左岸(中村・下河原)
R2	第30回 (R3.1.25)	・令和2年度工事予定箇所から環境面からの評価 ・猪名川自然再生事業 河原環境の再生の評価 ・「令和3年度両生類・爬虫類・哺乳類調査」における河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)	第23回 (R2.12.9)	・令和2年度工事予定箇所から環境面からの評価(案) ・河原環境の再生の評価(暫定) ・「令和3年度両生類・爬虫類・哺乳類調査」における河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)	R2年度 (R2.12.9)	・猪名川2.2k~10.2k付近、猪名川樹木伐採工事 (猪名川森本地区他河道掘削他工事の中で実施) ・猪名川右岸9.2k~9.4k付近、猪名川大橋地区河原環境再生工事(猪名川森本地区他河道掘削他工事の中で実施)
R3	第31回 (R4.1.27)	・工事箇所から環境面からの評価 ・過去の委員会指摘事項のフォローアップ ・河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)	第24回 (R3.12.9)	・工事箇所から環境面からの評価(案) ・過去の委員会指摘事項のフォローアップ ・河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)	R3年度 (R3.12.9)	・猪名川5.2k~6.0k+100m、河道掘削工事 ・猪名川左岸7.2k~7.4k、樹木伐採工事 (猪名川森本地区他河道掘削他工事の中で実施) ・猪名川5.6k~6.0k付近、河道掘削工事 (猪名川河道掘削事業)※次期整備計画対応

第30回 猪名川自然環境委員会 議事要旨

1. 日 時 令和3年1月25日(月) 10:00～12:00
2. 場 所 ウェブ会議
3. 出席者 委員：竹門委員、田中委員、服部委員、松井委員、村上委員、森下委員(委員長)
猪名川河川事務所：井樋所長、梶原副所長、志鹿総括保全対策官
(工務課)永野工務課長、渡部指導官、川直専門職、川合保全対策官、
新地維持係長
(園田出張所)山田出張所長
庶務：いであ株式会社 兵藤、佐中、高池、米倉
4. 議 事 (1) 令和2年度工事予定箇所の環境面からの評価
(2) 猪名川自然再生事業 河原環境の再生の評価
(3) 「令和3年度両生類・爬虫類・哺乳類調査」における河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)
5. 結 果

(1) 令和2年度工事予定箇所の環境面からの評価

(猪名川大橋地区河原環境再生工事のオギ移植)

- オギの移植について、多年性草本のセイタカアワダチソウやアメリカンカルカヤ等が侵入・定着しないように注意する必要がある。令和元年度の移植箇所でイネ科の一年生草本(メヒシバ、アキノエノコログサ、オオクサキビ等)が確認されていることは大きな問題ではない。

(移植に頼らない施工方法)

- 最終目標としてオギ群落等を移植により回復させるのではなく、工事実施箇所でも自然にオギ群落が成立するような基盤環境を創出できる施工方法を見つけていくことが重要である。

(工事後の出来高の記録・提示)

- 環境創成は特定の生物を対象として行うのではなく、どのような地形を形成し、どの程度の土砂が移動できるようになったのかという観点で、断面形状(断面や凹凸)や掘削土量等の情報を把握できると良い。特に河道掘削工事(低水路内)を行う際には、出来高というのを記録として示して頂きたい。

(工事による影響の予測に関する資料の修正依頼)

- 「口酒井地区河道掘削工事」及び「猪名川森本地区河道掘削工事」では、アオサナエやヒメサナエの流水性の生物については工事後に速やかに回復するが、止水や緩流を好むキイロサナエやヨロミドリドロシムについては影響が異なるので分けて記載して頂きたい。

(2) 猪名川自然再生事業 河原環境の再生の評価

(「はじめに」に関する記載表現の修正)

- かつての河原環境を中心とした河川生態系から「変化」という記載があるが、自然再生事業では自然環境が衰退したから再生しているの、「変化」ではなく「衰退」と表現を修正して頂きたい。

(河原環境の再生の総括におけるインパクトレスポンスの結果の追加)

- 評価項目において、物理環境の変化と生物環境の応答(インパクトレスポンス)の関係も把握して結果の考察に活用すると明記している。インパクトレスポンスを評価できるデータを取得して考察もできているため、最後の結論(総括)においても、インパクトレスポンスの結果を明記して頂きたい。自然再生事業によって自然裸地が増加したという言い方はできるが、自然裸地が増加したその真の理由は上流から洪水によって土砂が動いてきたということであり、区別して記載する必要がある。

(砂州の切下げによる土砂移動の活性化に関する分析の必要性)

- 提示された資料から、砂州の切下げ(掘削)を行い、土砂移動を活性化することで、砂州地形の伝播によって切下げ箇所の下流域の地形が形成されるプロセスが示されている。今後は、洪水規模と砂州の伝播距離の関係や土砂移動が活性化されたことによる土砂収支(侵食・堆積の生起)等について、インパクトレスポンスの観点から分析をしていく必要がある。

(多自然川づくりの観点を考慮した河川管理の実践)

- 河原環境の再生の事業としてはこれで完了であるが、治水事業の中でも多自然川づくり(自然再生を含む)の観点を考慮した河川管理を進めて頂きたい。多自然川づくりを実践するための方法や材料は、今回の評価の中で示されているので、これらのデータに基づいて、治水事業の中に自然環境保全や再生を目標とするやり方を定式化して頂きたい。

(生物の応答に関する今後の課題)

- 河原環境を再生し、生物環境の初期の応答としては目標通りの結果となった。しかし、例えば指標のひとつであるカラナダシロは一度消失しているため、再生して生物環境が応答(遷移)するには時間を要するため、今後の課題が残されているとは留意して頂きたい。

(3) 「令和3年度両生類・爬虫類・哺乳類調査」における河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)

(外来種の生息状況)

- 猪名川では外来種を管理したことで現在は外来種が増えてきていると考えられる。そのため、猪名川の河川環境を在来種の確認の有無だけを見るのではなく、外来種の生息状況についても把握する必要がある。
- 爬虫類について、猪名川で個体数や現存量が多いのはウシガエルである。外来種についてはウシガエルとミシシッピアカミミガメを入れて頂きたい。

〔底生動物調査の補足事項〕

- 底生動物調査の補足事項について、特定の種に限らず注目すべきという訳ではない。底生動物は群集レベルで見た上で、生活型による整理によって、現状が何で、何が欠けているのかと、かどんな課題があるのかを導き出すという発想が必要である。

〔魚類調査の補足事項〕

- 魚類調査についても重要種の経年変化だけでなく、猪名川の魚類相と生息環境（瀬・淵、わんど等）の再生を目指して頂きたい。

以上

3. 議事要旨集

(2) 第24回猪名川自然環境委員会 構造検討部会 (令和3年12月9日)

第24回 猪名川自然環境委員会 構造検討部会 議事要旨

1. 日 時 令和3年12月9日(木) 14:30~16:30

2. 場 所 国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 2階会議室

3. 出席者 委員：竹門委員、田中委員、服部委員、村上部会長(部会長)
猪名川河川事務所：佐渡事務所長、北野副所長
山口総括保全対策官、酒井建設専門官
(工務課) 永野工務課長、土山専門官、田中維持係長
庶務：いであ株式会社 浜藤、佐中、高地、養田

4. 議 事 (1) 工事箇所の環境面からの評価(案)
(2) 過去の委員会指摘事項のフォローアップ
(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)

5. 結 果

(1) 工事箇所の環境面からの評価(案)

1) 猪名川森本地区他河道掘削他工事【③】

(評価結果)

- ・ B評価とする。

2) 猪名川河道掘削事業【⑤】

(評価結果)

- ・ A評価とする。この箇所は猪名川・藻川への分流や上砂が堆砂傾向である特性等から重要な場所であり、河道掘削に関して時間をかけて考えるべき課題である。

(河道掘削における環境配慮)

- ・ 河道断面を確保するための掘削では、平水位以上に切り下げるだけではなく、河床を斜面にする、現在の横断的な形状が残るようにスライドダウンする等の施工とすること、水平に掘削する場合には、施工後に洗箱、土砂移動が生じるような仕組みを施すことが重要である。また、上下流の関係も含めて断面形状を設定することが重要である。

(動的な地形変化を促進する仕掛け作り)

- ・ 河川管理上の観点からニーズを把握し、土砂移動も含めた仕掛けを作っていくことが重要である。例えば、水衝部に対して堰牛(伝統的工法)を設置することで上砂堆積を促して水衝部を緩和することもできる。
- ・ 魚類の希少種、重要種は止水・緩流域に生息する種が多いため、水衝部に石列又はブロックを入れて堆積を促す等により、生物にとって多様な環境を作っていた方がいい。

3) 猪名川森本地区他河道掘削他工事【③】 (7.2k~7.4k 樹木伐採)

(評価結果)

- ・ B評価とする。

(ハリエンジュのより効率的な伐採方法について)

- ・ 露状剥皮で枯死した樹木については、枯死した樹木から順次伐採した方が良く、地上部が完全に枯死していれば地下部も枯死していると判断して伐採することで問題ない。
- ・ モニタリング調査では、調査中に癒合や再繁茂を確認した場合は、状況記録のみをするのではなく、その場で削り取り等の再繁茂対策を行うことが効率的である。

(その他の種の樹木伐採)

- ・ 猪名川に成立する在来植物のエノキやムクノキ等は樹高25m以上の大木になるため、低林管理により高木にしない長期的な管理方法を検討した方が良く、ヤナギについては暗伐で対応する方法もある。
- ・ 樹木伐採や除根等について、伐採の基本方針を示せるようにした方がいい。

4) その他工事 (B 評価)

(猪名川口酒井地区河道掘削他工事【②】、猪名川森本地区他河道掘削他工事【③】 (8.4k~12.6k 樹木伐採)、猪名川出在家地区低水護岸他工事【④】)

- ・ B評価とする。
- ・ 工事箇所でオギやオギが成立する箇所では、C評価であるがB評価となっても良いのではないかと。

5) その他工事 (C 評価)

(藻川堤防強化他工事【①】)

- ・ C評価とする。

(2) 過去の委員会指摘事項のフォローアップ

(工事出来高の記録及び河道の状態把握手法)

- ・ 資料では侵食・堆積の面積で整理しているが、上砂取支の観点からの評価も必要である。
- ・ 工事による冠水域の変化は重要な要素であるため、冠水域についても評価していただきたい。

(オギの移植)

- ・ オギ移植後の経年変化を把握する場合には、定点写真は10月頃に統一して撮影するとよい。
- ・ オギの移植に関しては、セイバンモロコシやクズ群落が繁茂している箇所でもあったが、今回は成功していると考えられる。

(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)

(魚類調査の補足事項)

- ・ 魚類調査については、事前に魚類専門の委員に内容を確認いただいたうえで、猪名川自然環境委員会でも議論することとする。

以上